



アップとルーズで伝える

中谷 日出 P 50

筆者の考えをとらえて、自分の考えを発表しよう

○教科書の各段落に番号を書きましよう。

○第三段落にある筆者の考えと同じような文が他の段落にもあります。その段落の番号と書かれている文を写しましよう。

第三段落

何かを伝えるときには、このアップとルーズを選んだり、組み合わせたりすることが大切です。

段落

●なぜ二度、同じような文を書いたのでしょうか。

○P 58 「たいせつ」を読んで、次の文の（ ）の中にてきする言葉をいれましよう。

●考えをのべた文章では、文章の（ ）（ ）（ ）（ ）の両方で、考えを（ ）（ ）のべていることが多い。

○ 第四段落と第五段落では、アップとルーズを対比して説明しています。次の表を使って、どのように説明しているのかまとめましょう。

	第5段落 () について	第4段落 () について	
ポイント 段落の中の、文の初めにある言葉に着目すると、説明のしかたがはっきり分けることができるよ。			よく分かること
			よく分からないこと

● 「アップ」と「ルーズ」を対比して説明することのよさはどんなことでしょう。



アップとルーズで伝える

中谷 日出 P 50

筆者の考えをとらえて、自分の考えを発表しよう

○教科書の各段落に番号を書きましよう。

○第三段落にある筆者の考えと同じような文が他の段落にもあります。その段落の番号と書かれている文を写しましよう。

第三段落

何かを伝えるときには、このアップとルーズを選んだり、組み合わせたりすることが大切です。

第八段落

送り手は伝えたいことに合わせて、アップとルーズを選んだり、組み合わせたりする必要があります。

●なぜ二度、同じような文を書いたのでしょうか。

例① 最初に伝えたいことをのべると、大切なポイントを強く意識しながら読むことができ、最後にもう一度のべることでしたしかにそうだと読み手がなつくするから。

例② 最初に言いたいことをのべると、読み手が「どうしてそう言えるのかな。」なぜ筆者はそうやって考えているのかな。」と考えながら読み進めていくことができるから。

○P 58 「たいせつ」を読んで、次の文の（ ）の中にてきする言葉を入れましよう。

●考えをのべた文章では、文章の（初め）と（終わり）の両方で、考えを（くり返し）のべていることが多い。

○ 第四段落と第五段落では、アップとルーズを対比して説明しています。次の表を使って、どのように説明しているのかまとめましょう。

ポイント	第5段落（ルーズ）について	第4段落（アップ）について
<p>段落の中の、文の初めにある言葉に着目すると、説明のしかたがはっきり分かることがあるよ。</p>	<p>文の初めの言葉</p> <p>でも</p> <p>文の初めの言葉</p>	<p>文の初めの言葉</p> <p>しかし</p> <p>文の初めの言葉</p>
	<p>・ 選手とおうえんした人たちが一体となって、しようりをよろこび合っている。</p> <p>・ 各選手の顔つきや視線感じられる気持ち</p>	<p>・ 全身でよろこびを表しながら走る選手の様子</p> <p>・ ゴールを決められたチームの選手の様子</p> <p>・ おうえん席の様子</p>
	<p>広いはんいの様子</p> <p>細かい部分の様子</p>	<p>よく分かること</p> <p>よく分からないこと</p>

● 「アップ」と「ルーズ」を対比して説明することのよさはどんなことでしょうか。

例 アップとルーズを比べて説明することで、そのちがいははっきりと分かる。また、アップやルーズのそれぞれのよさやとくいなことがよく分かる。

○「アップとルーズで伝える」ということについて、次のようにして、自分の考えをまとめましょう。

- ・自分が人に何かを伝える場面を、思いうかべる。
- ・本文を一部引用する。

筆者は、新聞の写真について、「取材のときには、いろいろな角度やきよりから、多くの写真をとっています。」と書いていました。わたしたちも、学級新聞などを作るときには、たくさん写真の中から伝えたいことにぴったり合った写真を選びます。例えば、運動会のおうえんがっせんで、カいっばい声を出してがんばった様子を伝える記事では、赤組のおうえん団長の力に入ったアップの写真を使いました。また、赤組がゆうしょうしたとき、みんなでよろこび合った様子を伝える記事では、みんながガッツポーズをしているルーズの写真を使いました。学級新聞を読んだ友達からは、「運動会でかったときのよろこびが伝わってきたよ。」と言ってくれてうれしくなりました。

伝えたいことに合わせて写真を選んだり組み合わせたりすることはとても大切だと思います。

○次の言葉を国語辞典で調べよう

引用	人の言葉や文章を、自分の話や文の中に用いること
こうふん	気持ちが高ぶること
一体	一つの体のようになっていること
紙面	新聞などの記事をいんさつする面 またその記事

小学校